

数量限定入荷

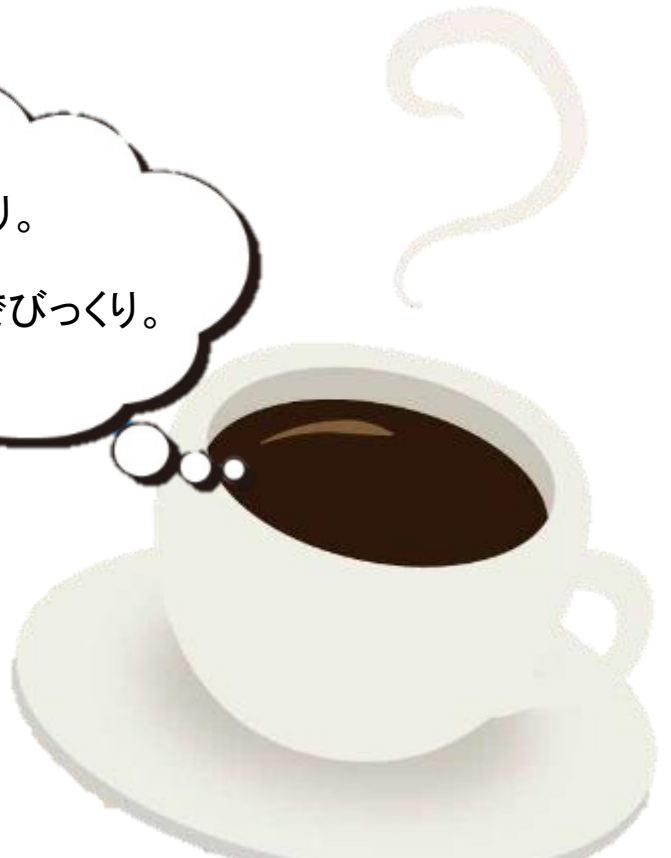
インドネシア

# ワハナ農園 ロングベリー

ミルキーで、柑橘系の香り、緑茶や紅茶を  
思わせる香り広がるコーヒーです。

見てびっくり。

飲んでびっくり。



＝インドネシア スマトラマンデリン Wahana Longberry 補足説明＝

Longberry はエチオピア由来で、ティピカ系種のハラーロングベリーと近似した品種であります。

インドネシアではアチェエリアに限って栽培されていました。

ワハナロングベリーはこれをトバ湖エリアにあるワハナ農園にて生産を開始したものであります。

その結果、アチェロングベリーとは異なる“ワハナロングベリー”としての個性を持つに至りました。

### 商品情報

生産エリア インドネシア共和国 北スマトラ州ダイリ県シディカラン

品種 ロングベリー 精製方法 水洗式

包装形態 30kg/1case (真空 pack15kg/2pack/case(段ボール))

生産者 PT.Wahana Graha Makmur

生産地高度 海拔 1,250-1,300m

社名 Wahana Graha Makmur の意 “*Vessels for Great Success*” 大成功のための船

### 農園情報

会社名 PT.Wahana Graha Makmur

所在地 Des alae Mungkur Kelurahan Sidiangkat Kabupaten Dairi

規模 468ha

(うち コーヒー生産 250ha/13 品種 コーヒー樹 2000 本 植樹間隔 2.0m×2.5m 苗木園 25ha 精製工場 10ha)

設立 2005 年

従業員 約 2000 人

グループ会社 PT.Sarimakmur Tunggal Mandiri

### 開発担当者より

2005 年くらいにマンデリンの輸出業者であったサリマクムール社マリアさんから自社直営農園の構想を聞かせてもらいました。その構想が「全プロセスに対応」という、スペシャルティコーヒーの自社生産を見据えた夢と希望にあふれるものであり、非常にわくわくしました。

長い時をかけ、出来上がったこの手元にある「ワハナ農園ロングベリーウォッシュド」は既存の概念にとらわれず新しいスペシャルティコーヒーを作りたいという思いが結集したからこそ実現した、“人の手によって産み出された”新時代のスペシャルティコーヒーだと思っています。

ぜひこの個性的な風味を味わっていただきたい。従来のマンデリンとは全く異なる、他の産地でも似たような風味にかつて出会ったことのない風味を感じていただきたい。

### 歴史

・2005 年くらいに「自社直営農園構想」を石光商事(株)エリア担当に話す。

・PT.Wahana Graha Makmur 設立・ワハナ農園の開墾を始める。

・開墾後、シディカランの土地に合う栽培品種を研究するため、数十種類もの栽培品種の区画を用意し、試験栽培を始める。

・2008 年にマンデリン産地にこれまでなかった全プロセス対応可能な精選設備が完成し、試験栽培していたコーヒーの収穫も始まり、半商業的生産がスタート。

・栽培品種 X 精選方法の組み合わせが色々試され、ロングベリーが外観とその風味に際立った個性があることを突き止める。

・ロングベリーはシディカランの土地との相性も良く、2018 年現在、ワハナ農園の 2 大栽培品種(ラスーナ)のひとつとなっている。

### 参考情報

インドネシアは、コーヒーを農園指定で購入すること、品種指定で購入することが難しい産地。